

ゆみこの 議員活動 報告書



2019.5.30 **15**

もくじ

- ・議員 4 期目スタート
- ・月形町地域拠点施設（バスターミナル複合施設）整備計画
- ・選挙運動から社会を変える



〒 061 - 0512 月形町市南 1 電話 / FAX 0126 - 53 - 2611 携帯 090 - 7646 - 3837
テレビ電話 76-1019 Eメール yumiko3@mac.com ホームページ <https://yumiko3.net/>
発行日 2019年 5月 30日 発行人 宮下裕美子

議員 4 期目スタート

町民のみなさんの関心とご支援のおかげで、宮下ゆみこは 4 月 21 日投開票の町議会議員選挙で当選することができました。多くのご支持をいただき、身の引き締まる思いです。背負った責任の重さと背中を押してくれる期待を原動力に、議員 4 期目も意欲的に活動していきますので、これからもよろしくお願ひします。

町民のみなさんの声が "まちづくり" のヒントや課題解決につながります。みなさんと一緒に "まちづくり" ができるよう、町政や議会の情報発信に努めます。お気軽にお声かけください。

宮下ゆみこ 4 期目は、議員個人の活動に励みます。

私の 4 期目は「まちづくり常任委員」のみとなりました。

議会全体に関わる役割がないので、他の議員に比べ自由な時間が持てます。個人的な議員活動を充実させ町民のみなさんの負託に応えたいと考えています。これまでと同様に現場や勉強会に足を運び、一般質問や委員会活動で課題解決に取り組みます。日常の情報発信はブログや FaceBook で、適時「議員活動報告書」を発行していきます。どうぞお楽しみに。

広域議会への派遣議員は、右の通りです。

私はこれまで広域議会に派遣されたことがなく、今回初めて月新水道企業団議会に参加できて嬉しいです。

上水道事業の現場や実態に興味津々、しっかり取り組みます。

【議会人事】

- 議長 金子廣司 (5)
- 副議長 大釜 登 (3)
- 監査委員 我妻 耕 (2)
- 議会運営委員会
 - ・委員長 楠 順一 (4)
 - ・副委員長 東出善幸 (2)
 - ・委員 大釜 登 (3)
 - ・委員 我妻 耕 (2)
- まちづくり常任委員会
(議長を除く全議員が所属)
 - ・委員長 我妻 耕 (2)
 - ・副委員長 楠 順一 (4)
- 広報特別委員会
 - ・委員長 松田順一 (2)
 - ・副委員長 楠 順一 (4)
 - ・委員 我妻 耕 (2)
 - ・委員 東出善幸 (2)

5月8日の初議会で議会人事が決定、これからの4年間はこの配置で議会が運営されます。※数字は期数

【広域議会への派遣議員】

- 岩見沢地区消防事務組合議会議員 (岩見沢市議会と構成)
 - ・堀 広一 ・大釜 登
- 月新水道企業団議会議員 (新篠津村議会と構成)
 - ・楠 順一 (副議長) ・宮下裕美子 ・松田順一 (監査)
- 空知教育センター組合議会議員 (空知 10 市 14 町で構成)
 - ・東出善幸
- 南空知ふるさと市町村圏組合議会議員 (南空知 4 市 5 町で構成)
 - ・金子廣司 (慣例で議長)
- 石狩川流域下水道組合議会議員 (中空知を核に 6 市 6 町で構成)
 - ・金子廣司 (慣例で議長)

月形町地域拠点施設（＝バスターミナル複合施設）整備計画

現状：5月8日に審議会設置

今、月形町では「バスターミナル複合施設」整備計画が着々と進んでいます。5月8日の臨時会では、この計画を検討する審議会が賛成多数（賛成7・反対1）で設置されました。

審議会とは、①バスターミナル複合施設整備と②皆楽公園の整備方針を連携させて検討する場です。審議委員は20人以内（一般公募2人+団体代表や有識者）で、検討結果を町長に答申します。

審議会は4回の会議で、複合施設の基本構想をたたき台に建設場所や内容を決める他、皆楽公園の整備程度と優先順位も検討。さらに、町民説明会を開催して町民の意見を聴くことにもなっています。この他、委員による道内・道外視察も組んでいます。

こんな盛りだくさんな内容をたった4回の会議で結論を出す?! 町は「計画は案の段階。変更は可能。審議会は柔軟に対応する」と説明していますが、日程や予算を見る限り細かな検討や議論はできない雰囲気。私には「建設ありき」で進んでいるようにしか見えません。

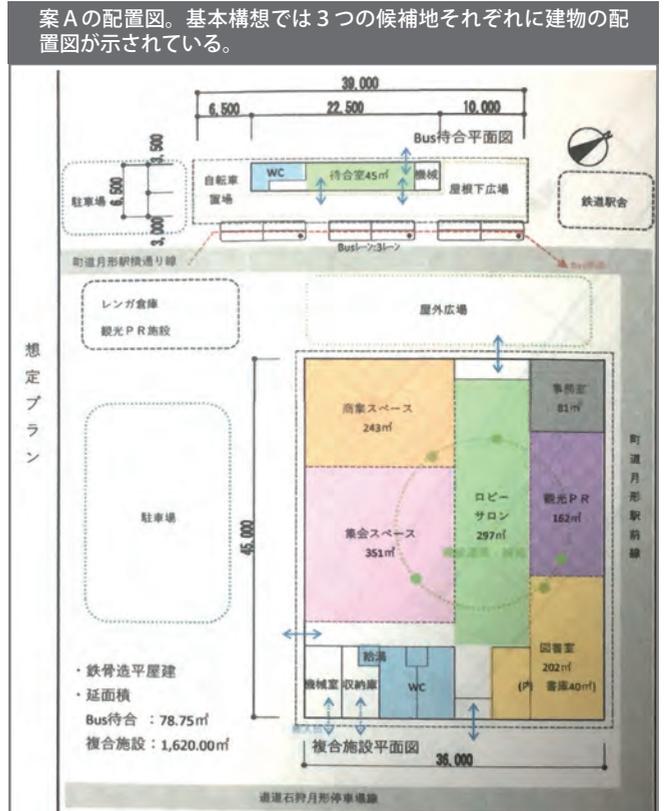
私は討論で「町民への説明不足のまま進むのは問題がある。町がどういう考えでこの計画を進めているのか、まず町の方針を町民に説明する必要がある。その上で審議会が町民の意見を聴くというステップが必要だ」と、現段階での審議会設置に反対しました。

整備計画とは

町は「JR廃線をきっかけに町内に様々な公共交通が走り出すので、その結節点となるバスターミナルが必要。せっきくの機会なので、コンパクトなまちづくりと観光振興のために様々な機能をもった複合施設を建設したい」と、昨年からの計画を進めています。以下は計画の詳細です。

■ 複合施設に含まれる機能

- ・バスターミナル
- ・バスターミナル待合所
- ・図書館（現在と同等規模）



- ・サロン
- ・観光PR施設
- ・民間事業所（商業スペース、生活関連サービス）
- ・集会施設（多目的研修センターホール規模）
- ・供用ロビー
- ・屋外広場
- ・駐車場

■ 候補地（下段写真参照）

- 案A) 月形駅と農協資材周辺 →オレンジ
- 案B) 交流センター周辺 →黄緑
- 案C) 月小グランド国道側 →青



■ 事業費

- ・各案とも工事費5～6億円、土地買収は別費用。
- ・財源の一部にはJR北海道からの廃線支援金。

■ 審議会の進め方

- ・バスターミナル複合施設は基本構想の候補地3案を基に、場所の決定 → 必要な機能と面積を検討。その際、観光振興や皆楽公園との連携を考慮する。
- ・皆楽公園再整備はコンサル報告書を基に、施設の老朽化とニーズへの対応、優先順位を検討する。
- ・審議会の開催は全部で4回。
- ・会議の他に、全委員による道内視察1回と一部委員による道外視察1回を実施。
- ・町民説明会は審議の後半に開催予定。
- ・(当初の設定)今年12月までに結論。
- ・検討内容や日程は柔軟に対応する。



皆楽公園メイン階段。朽ちて壊れ、立入禁止のロープが張られている。審議会では皆楽公園の整備方針も決定するとのこと。修繕費用不明の中で判断するのは難しいと思う。

ト。他に作っても行く必要がない。

- ・近くに交流センターがあるのに、また集会施設？
- ・なぜ1つに集約する必要があるの？ 田舎はどこに行くのも車だから1ヶ所にする必要ない。分散していた方が混雑しない。

■経費に対して

- ・建物のライフサイクルコスト（建設から解体までの全費用）は建設費の4～5倍。5億円の建物なら…
- ・建設費に補助金が出ても、維持管理費は町費では？
- ・民有地買収の経費はいくらになるのだろう？
- ・除雪のことを考えている？ スペースがなければ頻繁な排雪で経費がかさむ。
- ・冬の暖房費は？ 一部しか使わなくても経費はかかる。大きな建物は無駄が多い。

■その他

- ・公共施設は町民が利用するもの。町民が知らないうちに進めるの？
- ・学校敷地を狭めるには文科省の許可が必要では？
- ・防災面で、小学校グラウンドのような広い敷地を市街地に残しておく意味があるのでは？
- ・新しい施設を建てる＝古い施設は取り壊す？ 多目的研修センターはまだ使えるのでは？
- ・公共施設管理計画との整合性は？

これからどうする？

みなさんは現状を知ってどう感じ、どう考えましたか？ 公共施設は町民のもの、整備に町民の理解は欠かせません。町民説明会はずっと先、何も言わなければ計画はスルスルと進んでいきます。

みなさんの考えや疑問を近くの議員や関係者に伝えてください。私たちの町のこと、一緒に考え、行動しましょう。

ゆみこの目、町民の声



この計画を知った町民のみなさんから様々な声が寄せられています。

■施設内容に対して

- ・バスターミナルは本当に必要？ そんなにバスの本数があるの？
- ・バス待合所として駅舎は使えないの？ 新しく建てる必要あるの？
- ・図書館を作るなら、ゆったりくつろげるスペースがほしい。パソコン検索も。
- ・集会施設と図書館が一緒？ イベントをやっている傍で読書ができるの？
- ・大きなホールだけで葬儀はできない。小さな部屋も必要。このままだと使い方が限定される。
- ・多目的研修センター規模の集会施設を作るのに駐車場が狭すぎる。イベントや葬儀の参加者を考えたら…。今は車社会なのに。
- ・人口減少と高齢化なのに集会施設ばかり作ってどうするの？ 集まる人はいるの？
- ・給湯室しかない公共施設は不便。調理場がないと活用しにくい。

■立地に対して

- ・なぜ今、駅の周辺開発？ かえって不便になる。
- ・町民にとって役場前の本町通がメインストリー

※ 月形町立病院については、6月定例会の一般質問で取り上げます。その情報も加えて、次回の議員活動報告書で詳しくお伝えします。

選挙運動から社会を変える

議員のなり手不足がマスコミを賑わしていますが、ご多分に漏れず月形町議会も4年前は無投票、今回は定数2減で辛うじて選挙になりました。町議会は私たちの暮らしに密着したことを決める場であり、ここで暮らす人の多様な視点や意見を活かす場なのに、議会を構成する議員は偏っています。私が初当選（40歳）した12年前からずっと私は一番若手で、町初で唯一の女性議員。つまり若者と女性が極端に少ないのです。

私はこの現状を変えたいと活動してきました。志のある人が立候補したいと思うには・・・8年ぶりに訪れたチャンスに1つのアイデアを実践しました。それが「ワンオペ選挙運動」です。

ワンオペ選挙運動

ワンオペとは、ワン・オペレーション（＝1人作業）の略です。ワンオペ選挙運動は、選挙カーに1人で乗って、運転しながらインカムマイクで呼びかけ、町内のあちこちで街頭演説をするという、今までにない選挙運動の方法です。

人手不足が深刻な昨今、多くの手を煩わせる選挙が、選挙への関わりを敬遠する一因になっています。特に統一地方選挙は年度始めや農家の春作業に重なるので「手伝いを頼むのが心苦しい」「頼める人がいない」と立候補をためらう人も。若者や女性の議員を増やすには、この部分を何とかしなければと考えてきました。

そこで今回は「ワンオペ選挙運動」に挑戦！

といっても全てを私1人でするのは厳しいので、月形郵便局への選挙ハガキの差し出しや20カ所のポスター貼り、専門知識が必要なホームページの更新や記録は夫に頼みました。それでも半日農作業を休むだけで済んだので、この程度ならお手伝いしてくれる人もいないのではないかと思います。

ワンオペ選挙運動＋街頭演説＝素晴らしい出会い

選挙1日目は、立候補のご挨拶に町内全域を回ることになりました。周りの状況に気を配りながらマニュアル車の軽トラックを運転し、名前を発し、手を振ってくれた人にご挨拶して・・・両手＋両足＋口＋目＋耳と全部使った選挙運動はや

ることが多すぎて疲れ果て、街頭演説する時間もなくてストレスが溜まりまくり・・・ワンオペ選挙運動で一般的な選挙運動はムリ!!!

2日目からは1日約30カ所の街頭演説に切り替えて状況が一変しました。街頭演説は数分間同じ場所に止まるので「おや？」と気づきやすく、声のする方を見れば顔も素性もさらけ出した「宮下ゆみこ」しかいない。私自身も誰かを待たせることなくマイペースで行動できるので余裕がある。話しかけやすい雰囲気ができあがり、じっくりお話を聴くことができました。充実して本当に楽しかったです。

変化の兆し

今回の挑戦は全国各地から見守られていました。この方法なら志を持った人が周りへの影響を最小限にして立候補できる、組織を持たない女性もチャレンジしやすくなった、と多くの人が喜び、希望を抱きました。また、地域課題を愚直に訴え続けた選挙運動を高く評価してくれた新聞（河北新報5月13日社説）もありました。これらの好意的な評価は、町民のみなさんが結果を形にしてくれたからこそ。みなさんの意志と行動が社会を動かし始めているのです。本当に嬉しいです。

選挙は4年に1度の表現の場です。前例を踏襲してその場に止まるか、小さな工夫や挑戦を重ねて社会を変えていくか。貴重なチャンスをどう活かすかは候補者の課題ですが、どんな未来にするかは町民のみなさんの選択です。

